

この教室では、気象庁マスコットキャラクターのはれるん  が、気象について教えてくれます。

9時間目は「ひょう・晩霜」について学びましょう。

はれるんのお天気教室

寒さもゆるみ、ぽかぽか陽気。

4月は肌寒い日もありますが、

5月は風薫る5月とも呼ばれ、

初夏の陽気になります。

今回は、5月に注意したい、

ひょうや晩霜についてお話しします。



9時間目

ひょう・
晩霜



2000年5月25日に
千葉県に降ったピン
ポン大のひょう
(左下は1円玉)

ひょうは強い積乱雲に伴って発生し、そのほとんどは雷を伴います。気象庁の発表する雷注意報や気象情報ではひょうが降る可能性が大きい場合

この時期のひょうは生育を始めた農作物にとって大敵で、毎年多くの農業被害が発生しており、5月は1年で最もひょうの被害が多い月となっています。

5月の強い日差しで地面が温められているところへ上空に強い寒気が流れ込むと、大気の状態が不安定となって積乱雲が発達し、雷雨や時に大粒のひょうが降ります。ひょうは、積乱雲の中で小さな氷の粒が上昇と下降を繰り返して、他の氷の粒や水滴と一緒に大きくなって成長します。このため、ひょうには水滴が凍ったために透明なものや、氷の粒が集合して白く見えるものなどいろいろな種類があります(写真)。

はれるんプロフィール

名前:はれるん(気象庁マスコットキャラクター)

種別:地球の自然(太陽、雲、雨)

所属:気象庁総務部総務課広報室

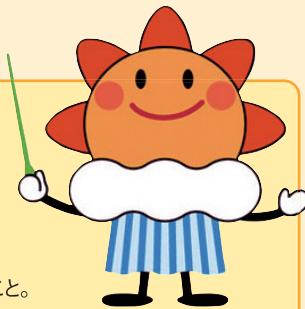
趣味:天気予報

仕事:国民の気象庁に対する親近感を深めること。

その他情報:特技は、雲の襟巻さを回転させ、空を飛ぶこと。

(地球上に災害が発生しないよう監視するため)

各地のお天気フェア、気象庁ホームページ、気象庁1階にある「気象科学館」で会うことができます。



には、その旨を記述していますのでご注意ください。

一方、5月頃には移動性高気圧に覆われて晴れた結果、夜間に放射冷却現象によって冷え込みが強まり霜が降りることがあります。初夏の頃発生する霜を晩霜(おそじも)と呼び、ひょうの場合と同様に大きな被害が生じることがあります。晩霜による被害の発生が予想されるときには、各地の気象台は霜注意報を発表しますのでご利用ください。